

受入先	観光課
隊員氏名	岩崎 泰依
着任日	平成 30 年 1 0 月 1 日

活動月	平成 31 年 5 月（着任 8 カ月目）
主な活動	武家屋敷を活用したイベント企画、和綿畑づくり、研修など

1 武家屋敷コットンファームの活動（5月）

5月になり日中は日差しも強く、水やりや草取りなど作業も大分しんどくなってきましたので朝や夕方に畑に行くことが多くなりました。とはいえ、芽も出揃い日に日に成長する過程を見るのは楽しい作業でもあります。ファームでは現在「真岡」「河内」「有明」「茶綿」4種類の和綿と蓼藍を栽培しています。それぞれ生育の状態が少しずつ違ったりするのも興味深く、秋に収穫する綿は手紡ぎで糸にするので品種によって紡ぎやすさや感触や風合いが変わり個性が見られるのも面白いです。今月からは機織りの練習なども始めました。去年収穫した和綿を糸紡ぎワークショップの際にみんなで糸を作り、その糸を使用してマフラーを織りました。初めて原料から材料、身に着ける物までの工程を自分の手で作る事が出来ました！形のあるものが出来たことで、この活動の自分自身の目的意識がさらに高まり、活動内容を説明をする際にも説得力があるものだと思っています。昔の人はこの地道な作業を繰り返し、すべての衣類を手で作っていたのだと思うと感慨深いです。大抵のものはお金をせば簡単に手に入る生活を送っていますが、この活動を通して手間暇をかける時間や物を大切に想う気持ち、自然のながれと共に暮らすという事。ただ物を作る行為という以外に学ぶことが多いと思っています。

●セタイイベント～織姫体験～開催します

7月6日（土）・7日（日）の2日間知覧武家屋敷西郷邸にてセタイのイベントを企画しました。織姫に因んで和綿を使った機織り体験・糸紡ぎワークショップなどを予定しています。



●和綿の視察に行ってきました

熊本のあさぎり町では和綿の栽培を地域活動として盛んに行っており、この日参加させて頂いた種まきイベントでは地域の方、県外からの参加者合わせて 200 人以上の方が参加していました。子供たちの楽しそうな様子がとても印象的でした。注目すべきところは地元企業と住民が連携し原材料から和綿製品の生産を地域内でおこなっている点で、商品を見ても作り手の想いが感じられ、和綿を通して人の和が繋がっているところが素晴らしいと感じました。



種まきイベントの参加者



地元の高校生が開発した綿繰り機
作業効率が 10 倍！も上がったそう

2 インド料理講習会に参加しました

地域おこし協力隊の年次活動報告会がきっかけでお声をかけていただき、今月鹿児島市内でのインド料理講習会の講師をさせていただきました。お話を頂いた時はプロでもない自分が講師なんて務まるのだろうかと不安が大きかったのですが、参加者や主催者の皆様にも助けられ楽しく終えることが出来ました。今回の講習の中で特にこだわった点は食材を出来るだけ南九州産の物を使用した点とスパイスを使った料理でのハラールやベジタリアンなどの特別食へのアレンジのしやすさの点でした。国際交流団体の主催のイベントでしたので、参加者の皆さまも外国人へのおもてなしとしての特別食に関心を持って頂けたと思います。また、和綿の活動の話もさせて頂いたところ、「知覧に遊びに行きたい」ともおっしゃっていただき、実際和綿のワークショップにも何組かご予約いただきました。外で活動することで少しでもこちらに興味を持ってもらい、実際に足を運んでもらうきっかけづくりが出来た事もうれしく思います。

